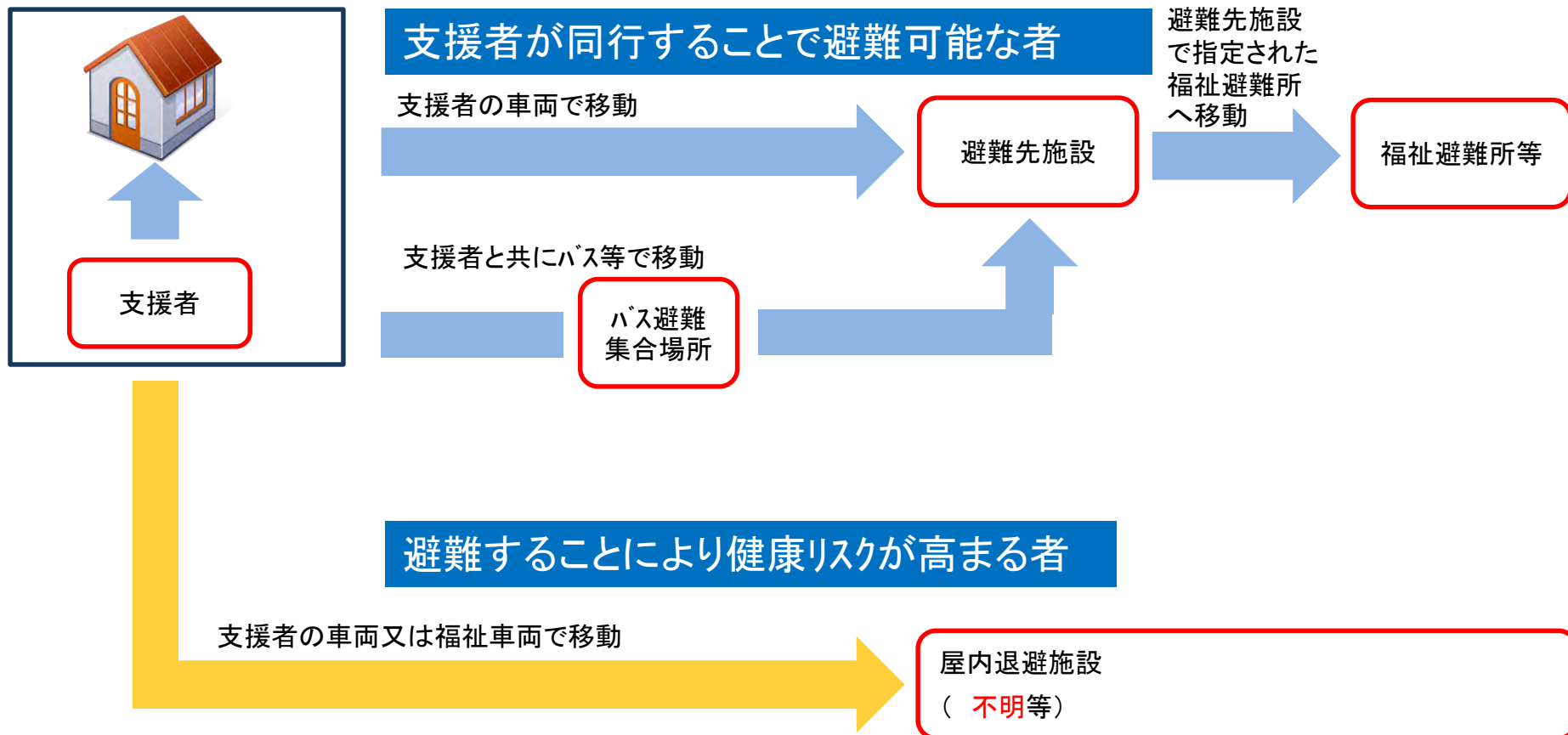


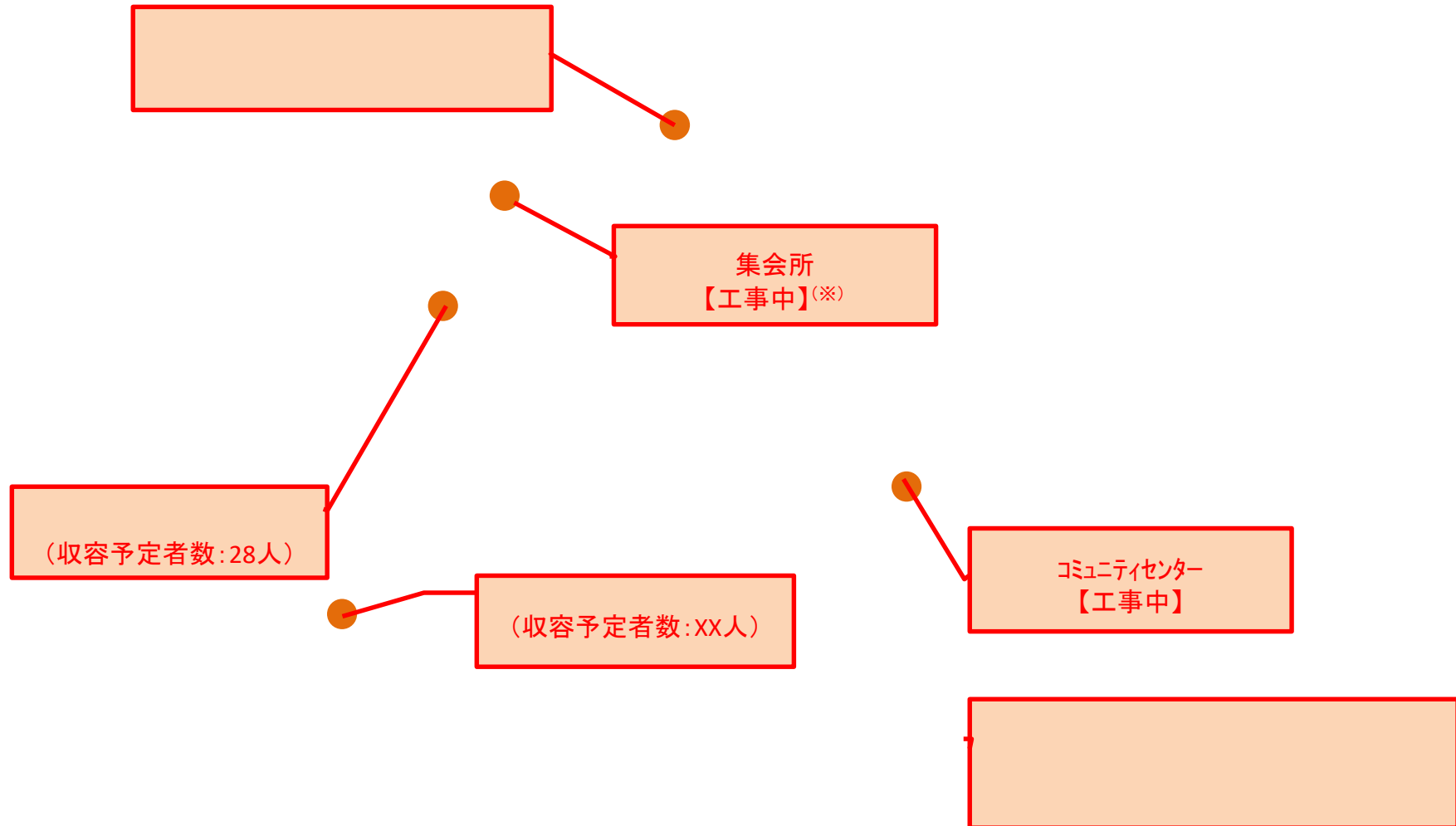
PAZ圏内の在宅の避難行動要支援者への対応

- 在宅の避難行動要支援者のうち、避難支援の申し出があった者はXXX人。うち、XX人は避難時の支援者があることを確認。残りXX人については、支援者の確保に向け要調整。
- 支援者の同行により避難可能な者は、支援者の車両又はバスで避難先へ移動。
- 避難によりかえって健康リスクが高まる者は、支援者の車両又は福祉車両で、近傍の屋内退避施設へ移動。



避難を行うことにより健康リスクが高まる在宅の避難行動要支援者に係る対応

- 屋内退避施設は、放射線防護対策の工事中施設を含めて合計X施設を整備。
- 屋内退避施設は、合計約XXX人を収容。
- 予防的な避難を行うことによって、かえって健康リスクが高まるような重篤者については、無理な避難は行わず、放射線防護機能を付加した近傍の屋内退避施設へ収容



PAZ圏内の学校・保育所の児童等の避難

➤ PAZ圏内の児童生徒等が在学時には学校等からのバスにより集団避難。

平成25年10月1日現在
資料：県（総務課、教育庁）、松江市

市名	学校等の名称	所在地	電話番号	児童生徒数
松江市	鹿島中学校	鹿島町名分673	0852-82-0318	173
	中学校：1校			173
	佐太小学校	鹿島町佐陀本郷1186	0852-82-0185	97
	恵曇小学校	鹿島町手結201	0852-82-0065	93
	鹿島東小学校	鹿島町北講武599	0852-82-0309	86
	生馬小学校	西生馬町8	0852-36-7614	120
	小学校：4校			396
	佐太幼稚園	鹿島町佐陀本郷1186	0852-82-1058	22
	恵曇幼稚園	鹿島町恵曇1	0852-82-1547	11
	講武幼稚園	鹿島町北講武599	0852-82-1439	33
	生馬幼稚園	西生馬町8	0852-36-8727	34
	幼稚園：4園			100
	恵曇保育所	鹿島町武代181	0852-82-2093	73
	御津保育所	鹿島町御津799-2	0852-82-0302	59
	マリン保育所	島根町大芦2189-2	0852-85-2064	67
	保育所：3所			199
	松江工業高等専門学校	西生馬町14-4	0852-36-5111	1,173
	松江ろう学校	古志町191-6	0852-36-7222	29
	その他：2校			1,202
合計：14施設			2,070	



避難先施設

※保護者への引き渡しが出来なかった児童等は、避難先で保護者に引き渡し

施設敷地緊急事態で必要となる輸送能力

- 施設敷地緊急事態で必要となる輸送能力は、想定対象人数約xxx人について、バスxx台、福祉車両xx台。

	想定対象人数(最大) (人)	最大必要車両台数※1			備考
		バス(台)	福祉車両(台) (ストレッチャー仕様)	福祉車両(台) (車椅子仕様)	
学校・保育所の避難(保護者への引き渡しができない児童等及び職員を、避難先施設に輸送)	(箇所)	XX	—	—	バス1台あたり50人程度の乗車を想定 保護者への引き渡しによりその分必要車両台数は減る。
医療機関及び社会福祉施設の避難(入所者及びその施設の職員を避難先施設に輸送)	XXX+職員XX (箇所) (=XXX)	XX	—	X	バス1台あたり50人程度の乗車を想定 医療機関における寝たきりの入院患者等は、同じ敷地にある屋内退避施設へ移動
在宅の避難行動要支援者のうち、避難支援の申し出があった者及びその支援者を、避難先施設に輸送	XXX+支援者XX (=XXX)	XX	—	X	複数箇所をまわるため、1台当り30人程度の乗車を想定
在宅の避難行動要支援者のうち、避難支援の申し出があった者について、避難することにより健康リスクが高まる者及びその支援者を屋内退避施設に輸送	XX+支援者XX (=XXX)	—	XX	—	屋内退避施設に輸送。 近距離のためピストン輸送を想定
合計	2,021	52	12	13	

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※2 福祉車両(ストレッチャー仕様)は1台あたり1名、福祉車両(車椅子仕様)は1台あたり4名の避難行動要支援者を搬送することを想定

施設敷地緊急事態での輸送能力の確保

- 施設敷地緊急事態発生時には、医療機関、社会福祉施設、在宅の避難行動要支援者、教育機関の避難のために、松江市のバス会社が保有する車両のほか、中国電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 松江市内のバス会社等と連携し、XX人程度の輸送能力を確保。
- バス会社等の運転手は交代制勤務のため、緊急時の動員方法や他バス会社等との協力等について調整中。

	確保車両台数			備考
	バス(台)	福祉車両(台) (ストレッチャー仕様)	福祉車両(台) (車椅子仕様)	
(A)最大必要車両台数	XX	XX	XX	
(B)車両確保台数	合計XX以上	合計XX以上	合計XX以上	
医療機関・社会福祉施設が保有する車両(B1)	X	X	X	
松江市内のバス会社等が保有する車両(B2)	XX	—	—	松江市内のバス会社等が保有する車両総数XXX台
中国電力が配備する車両 (B)－(B1)－(B2)	X以上	XX以上	XX以上	中国電力が近隣事業所等に車両を配備

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(自衛隊、警察、消防、海保庁)に支援を要請

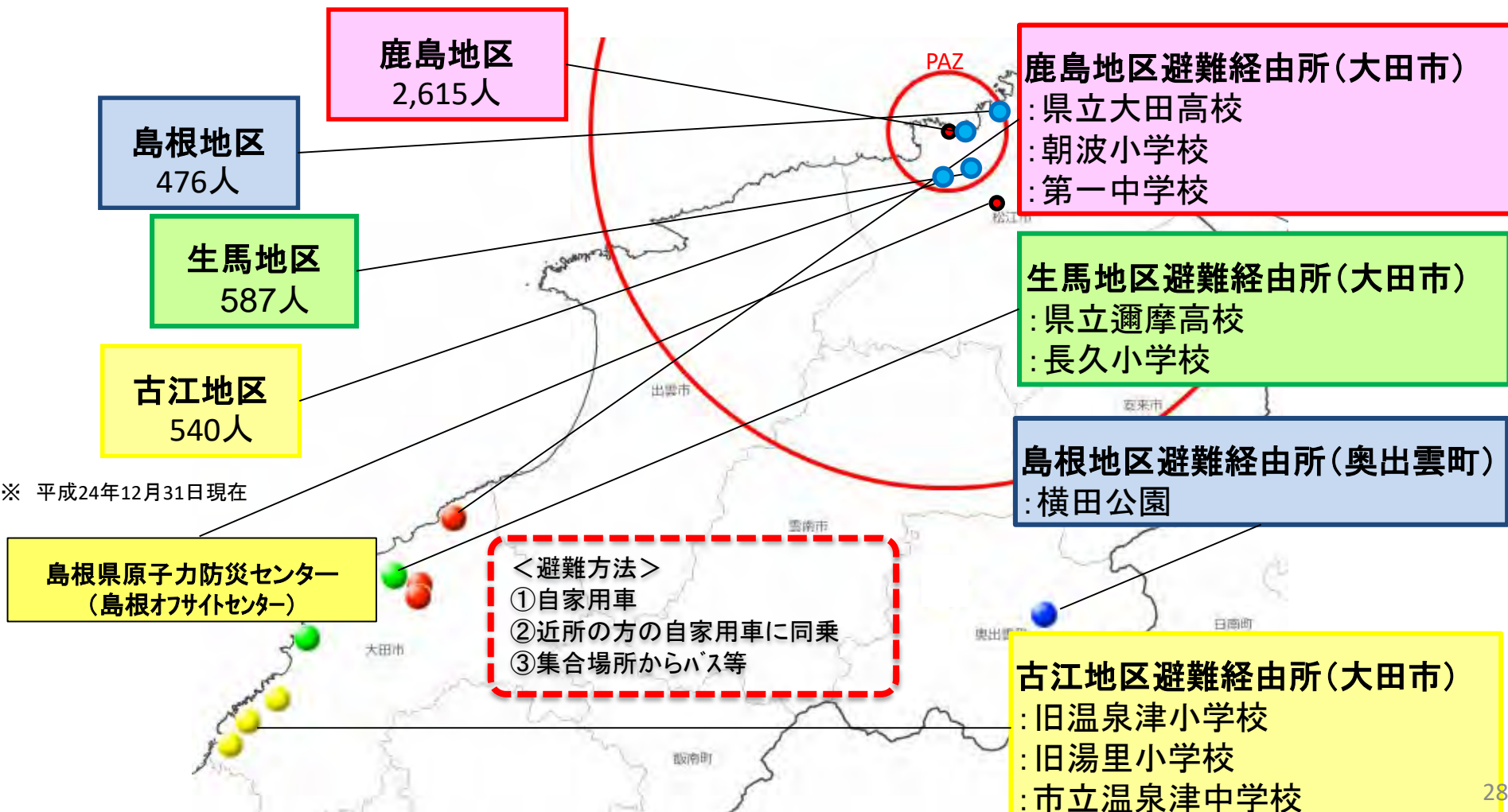
4. PAZ圏内の全面緊急事態 における対応

<対応のポイント>

1. 自家用車による避難ができない住民(約xxx人)の移動手段(バス等)を確保し、避難を開始すること。
2. 避難先である大田市及び奥出雲町のXヶ所の避難所の受入れ体制を整えること。
3. 安定ヨウ素剤を持っていない者(紛失等)に、緊急配布すること。

PAZ圏内の住民の避難先

- 3地区(鹿島地区、生馬地区、古江地区)住民の避難先については、大田市内、島根地区については奥出雲町に避難先を確保
- 避難先については、避難計画に関する住民説明会等を通じて対象となる住民に周知。



自家用車で避難できない住民の数

- ▶ 松江市の4地区(鹿島、島根、生馬、古江)を対象とした市による戸別訪問調査の結果、自家用車で避難できない住民は合計XXX人。

自家用車で避難できない住民の集合場所



地区	人数
鹿島地区	
島根地区	
生馬地区	
古江地区	

➤ PAZ圏内の観光施設における月間入場見込み人数は2800人程度、民間企業(従業員30人以上)はXX社(約XXX人)存在。

PAZ圏内の観光施設の状況

PAZ圏内の民間企業(従業員30名以上)の状況(詳細)

地区名	施設	入場見込人数(人)※
鹿島地区	佐太神社	1452
	島根原子力館	213
	恵曇海岸	116
	古浦海水浴場	209
	鹿島多久の湯	645
島根地区	マリンゲート島根	41
古江地区	朝日山	87
合計		2763

地区	民間企業名	従業員数(人)
鹿島地区		
合計		

地区	民間企業名	従業員数(人)
島根地区		
合計		

地区	民間企業名	従業員数(人)
生馬地区		
合計		

地区	民間企業名	従業員数(人)
生馬地区		
合計		

※ 入場ピーク月の入場者数を1日当りの平均値として按分した数であり、目安である。

合計 : XX社X,XXX人

全面緊急事態で必要となる輸送能力

- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者、合計約XXXX人分：バス33台。
- 各事業所の従業員の避難方法については各事業所単位で周知（施設敷地緊急事態で、自家用車により帰宅）。

	想定対象人数 (最大) (人) ※	想定必要バス数 (最大) (台)	備考
自家用車で避難ができない住民	XXX	XX	1台のバスが複数箇所をまわり乗車 1台当り30人程度の乗車を想定
観光施設から避難する一時滞在者	約2800	56	バス1台あたり50人程度の乗車を想定 自家用車や観光バスで来場している 者がいる場合は、その分必要車 両台数は減少
合計	約		

※ 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車もしくはバス等により避難